



インフラツーリズム

～私たちの生活を支えるインフラの魅力と恩恵を探る～



岩手県



岩手県一関市のインフラ施設をご紹介します。

インフラツーリズムとは

橋、ダム、港などのインフラ（公共施設）を地域固有の財産と位置づけて、観光を通じた地域振興に資するインフラ活用の取組です。

建設中のダムや監査廊など、普段なかなか入る機会のないインフラ施設を公開・開放して、施設に見て、聞いて、触って、体感していただく「非日常」を楽しめる機会です。あまり意識することは少ないかもしれませんが、常に身のまわりにある多くのインフラに近づき、触れることで、インフラへの理解を深めていただければと思います。

一関遊水地事業 [インフラツアーポイントガイド]

北上川の治水と

「平泉・一関」歴史文化の調和をめざして



1



2



3

1. 一関遊水地全景

一関遊水地は、市街地を洪水から守る周田堤と中小洪水を防御し調整効果を増大させる小堤からなり、第1・第2・第3の遊水地で構成されている様が遊水地展望台から一望できます。

2. 北上川学習交流館 あいぽと

北上川の風土と民俗、歴史と文化、災害と治水等の種々の情報を広く発信し、展示資料などによる学習や流域内の交流を図るための総合情報拠点であると共に、災害時における防災活動拠点となっています。

3. 一関遊水地記念緑地公園

一関市総合体育館に隣接した公園です。公園内には1,000本の桜が植えられ、種類も複数あることから、訪れる時期によって違う種類の桜が満開になり、年間を通して長い期間、桜を楽しめます。

東北地方整備局管内のインフラ施設を紹介するガイドブックを発刊しています。大人になった今こそわかるインフラ施設のおもしろさを体験してみませんか？イベント情報等掲載しておりますので、ぜひ一度ご覧ください！

●ホームページはこちら↓↓↓

インフラツーリズム in 東北 <http://www.thr.mlit.go.jp/infra/>

◆編集後記◆東北地方の各県では、普段なかなか入る機会のない工事現場や施設の現場見学会を開催しています。見て、聞いて、触って、公共事業を体感してみたいはいかがでしょうか？(よ)



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～